



■ 成果指標

指標	単位	現状値		実績値				目標値
				R4	R5	R6	R7	
1	AI・RPAの導入件数	件	7	R2	15	15	15	20
2	マイナンバーカード取得率	%	27.97	R2	69.30	79.48	89.84	90.00
3								
4								
5								
6								
7								
8								

■ 市民アンケート調査

項目		現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察
1	市の窓口やサービスが利用しやすい	重要度 1.33	1.49	1.46	
		満足度 0.25	0.37	0.32	
2	行政情報を市民が入手しやすい仕組みが整っている(再掲)	重要度 0.95	1.13	1.09	
		満足度 ▲ 0.12	0.01	▲ 0.09	
3		重要度			
		満足度			
4		重要度			
		満足度			

■ 施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① 行政DXの推進基盤の整備	令和7年度に標準化対応を予定しているシステムについて、円滑かつ安全に実施するための環境整備を進めた。今後、対応作業等を適切に進め、システムの安定稼働につなげる。
② 行政DXによる市民サービスの向上	マイナンバーカードについて、個別訪問による申請受付等に取り組み、取得率向上を図った。今後、マイナンバーカードの活用を含め、オンライン申請の更なる拡充に取り組む。
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	

総合評価

行政DXの推進基盤の整備については、総合住民情報システムや総合保健福祉システム等の安定稼働を図るとともに、地方公共団体情報システムの標準化・共通化に向け標準準拠システムへの安全な移行を図るため、一部システムを特定移行支援システムとし、より適切な工程管理に努めたほか、令和7年度移行を予定しているものについては移行環境を整えた。国の制度運用が見通しづらい場面もあったが、国等への要望等対策を講じながら適切な移行に努めた。また、人事給与システム、統合型地理情報システム及び内部情報系ネットワーク機器等の更新を円滑に実施し、システムの機能拡充やネットワークの安定化につなげた。さらに、RPA拡充に向けた研修の実施、AI議事録作成支援システムの導入により、事務の効率化を図るとともに、生成AIの庁内展開に向けた環境整備を行った。このほか、デジタル人材の確保に向け、国の地域活性化起業人制度の活用を進めたが、全国的なデジタル業界のリソース不足等から、専門人材の確保に至らなかったことから、今後の対応策を検討していく必要がある。一方、行政DXによる市民サービスの向上については、マイナンバーカードの普及促進に資する方策として、出張申請受付等の申請機会の拡充に努めたほか、窓口入力支援システムを導入しマイナンバーカードの利便性の向上を図ったこと等から、コンビニでの証明書発行数の割合が向上(全体の31%)する相乗効果を生み、窓口業務の負担軽減にもつながった。また、オンライン手続きの拡充に向け、各種手続きのオンライン化に向けた手続調査を実施し、オンライン化の実現性、効果性等を明確化した上で、実現可能性の高い手続から順次オンライン化を進め、利便性向上と業務の効率化につなげたほか、行政情報のオープンデータ化について公開データの拡充に努めた。

**B**

まずは進んだ

今後の展開方針

行政DXの推進基盤の整備については、令和7年度に標準準拠システムへの移行を予定しているシステムに関し、システム保守委託業者等との調整を綿密に行い、円滑かつ安全な移行を図るほか、新たなデジタル技術の活用として、RPA導入業務の拡充を図るとともに、生成AIの全庁展開により事務の効率化等につなげていく。また、行政DXによる市民サービスの向上については、マイナンバーカードの更新時期のピークを迎えていることから、窓口入力支援システムの利用を促進するとともに、保有率の維持・向上を視野に入れ、更新手続きの周知啓発に努めるほか、マイナンバーカードの活用を含めた行政手続きのオンライン化を拡充することにより、行政サービスの利便性の向上を図っていく。加えて、県制度を活用しながら、行政DXの推進に資するデジタル人材の育成・確保を図っていく。